

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.269

平成28年(2016年)
2月1日発行



上：10月30日に元町福祉健康センターで行われた意見交換会の様子
下：11月25日に西部環境エネルギーセンターで行われた意見交換会の様子

目次

- ・12月定例会議の概要 P.2
- ・本会議の発言から P.3～P.11
- ・審議結果 P.12～P.13
- ・議員別賛否一覧 P.14～P.15
- ・特別委員会の要望事項、提言… P.16～P.17
- ・常任委員会の活動状況 P.18
- ・意見交換会 P.19
- ・編集後記等 P.20

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

平成27年度 金沢市議会 12月定例会議会の概要

平成27年度金沢市議会12月定例会議会が、12月4日から18日までの15日間開催されました。

12月4日（議案上程・提案理由説明）

初日4日には、山野市長から、地域経済の活性化や福祉・保健に要する経費の追加を主な内容とする総額21億9,134万7,000円の補正予算案のほか、「空き家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例」案など、議案18件が提案され、市政の概況とともに提出議案の説明が行われました。

12月14日～16日（質疑・一般質問）

14日から16日までの3日間にわたる本会議では、17人の議員が質疑や一般質問を行いました。また、16日には平成26年度決算認定にかかる議案1件及び認定2件が全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決または認定されました。その後、都市交通特別委員会及びスポーツ振興特別委員会の委員長報告が行われました。

12月17日（委員会審査）

17日には、5つの常任委員会が開催され、議案の審査が行われました。

12月18日（討論・採決）

最終日の18日には、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決、同意または諮問のとおり答申されました。議員提出の議会議案12件は8件が可決、4件が否決され、請願6件及び陳情1件はいずれも不採択となりました。また、任期満了による選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われ、新たに委員4名と補充員4名が決まりました。

市長の施政方針（要旨）

◇連携中枢都市宣言

本格的な人口減少社会を迎え、本市においてもみずからの市域のみならず、圏域全体を見据えた市政運営が求められている。近隣市町と連携し、圏域の強みである住みやすさに一層磨きをかけたいと考えており、本市が連携中枢都市としての役割を果たしていくことを表明する。今後、連携協約締結に向けた協議を進め、準備が整い次第、関係議案を上程する。

◇金沢マラソン

11月に開催した初の金沢マラソンは、約1万2,000人のランナーが金沢のまちを駆け抜けた。こうしたスポーツの祭典が金沢の新しい文化や個性として根づくことを心から願う。今後の開催に際しては、開催日のあり方を含めた検証も行いながら、さらに魅力的な大会となるよう鋭意取り組んでいく。

◇まちづくり条例等の改正

金沢らしい景観の創出に向けて、新たな眺望景観保全区域の指定に向けた調査を進めているほ

か、東山ひがし地区を初めとする地域の景観の保全や住民主体のまちづくりに向けて、市の調整機能や事業者の責務等を明確化するまちづくり条例等の改正案を上程した。

◇家庭ごみの有料化

家庭ごみの有料化については、市民フォーラム等での意見や先行都市の事例、廃棄物総合対策審議会での議論等を踏まえ、素案を作成し、パブリックコメントを行ったところであり、今後、審議会の答申を受けて、導入の是非を判断していきたい。

◇教育行政大綱の策定、小学校の統合

本市の教育行政の指針となる教育行政大綱が、10月に開催した総合教育会議において決定したので、これに基づき、学校・家庭・地域が一体となって、金沢のまちに誇りと愛着を持つ心豊かな子どもたちの育成に努めていく。また、材木町小学校と味噌蔵町小学校の統合について、統合校の名称を「兼六小学校」とすることで合意が得られたので、学校設置条例の改正案を上程した。



本会議の 発言から

12月14日（月）から16日（水）にかけて、
17人の議員が質疑や一般質問を行いました。

12月14日（月）

・下沢 広伸 議員（自民党）	P. 3
・森 一敏 議員（みらい）	P. 4
・小阪 栄進 議員（市政刷新）	P. 4
・松井 純一 議員（公明党）	P. 5
・広田 美代 議員（日本共産党）	P. 5
・小林 誠 議員（金沢保守）	P. 6

12月15日（火）

・上田 雅大 議員（自民党）	P. 6
・松井 隆 議員（みらい）	P. 7
・源野 和清 議員（公明党）	P. 7
・大桑 初枝 議員（日本共産党）	P. 8
・玉野 道 議員（清風金沢）	P. 8
・坂本 泰広 議員（自民党）	P. 9

12月16日（水）

・小間井 大祐 議員（自民党）	P. 9
・麦田 徹 議員（みらい）	P.10
・森尾 嘉昭 議員（日本共産党）	P.10
・熊野 盛夫 議員（みどり）	P.11
・黒沢 和規 議員（自民党）	P.11

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した
原稿を基にしています。



自由民主党金沢市議員会
下沢 広伸 議員

東京国立近代美術館工芸館移転について

問 馳浩文部科学大臣が東京国立近代美術館
工芸館の石川県誘致を提案した。本市に移転と
なれば、高等教育機関や研究機関が一体となっ
た取り組みとなり大きな役割を持つことから、金
沢版総合戦略の基本目標の一つである「学都金
沢の強みを生かす」ためにも積極的に誘致活動
に取り組むべきと考えるが、市長の所見を聞く。

答 地方創生の一環として県が国に提案を
したところである。3月をめどに有識者会議の
議論を経て移転基本方針が決定すると聞いてお
り、県・市の工芸のさらなる発展、情報発信強
化につながるもので、議論の推移を見守りたい。
(市長)

連携中枢都市宣言から

問 県が示した人口ビジョンは、自然動態
の改善や定住促進、企業の本社機能移転優遇と
いった対策が多く、県内での人口の取り合いの
ように見える。そのような中で、本市が拠点と
なるためにどのような役割を持たなければなら
ないと思うか、市長の所見を聞く。

答 圏域全体を見据え、経済成長の牽引、高
次の都市機能集約強化、生活関連機能サービス
の向上等の取り組みによって拠点性を高め、地
域の継続的発展につなげていきたい。それが県
全体の魅力の向上に波及すると考えており、今
後とも近隣自治体との連携を進めていく。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢版総合戦略、重点戦略計画について
- 2 第2次金沢交通戦略について
- 3 スポーツ振興の取り組みについて
- 4 保護者とかかわりと幼児教育センター設置について



みらい金沢
森 一敏 議員

中学校歴史教科書採択について

問 中学校歴史教科書採択については、生徒が「真実を直視する」、「歴史に向き合う」ために教科書にいかなる内容が必要なのかがほとんど議論できておらず、お粗末に過ぎると思うが、教育委員長はどう振り返っているか。

答 学習指導要領における歴史的分野の内容の取り扱いがどのように反映されているのか十分に時間をかけて審議を行い、最終的に教育委員会の権限と責任において公正かつ適正に採択を行ったものと理解している。（教育委員長）

差別なき金沢に向かって

問 障害者差別解消法の核心は、障がいのある人がともに生きられるよう社会的障壁を除去することであり、大原則は、当事者参加と選択・自己決定の保障だが、差別の解消に向けた本市の課題と実施体制、加えて当事者の意見を反映させる仕組みを市長はどのように考えているか。

答 職員に対し、現在策定中の職員対応要領に関する研修等を新たに実施するほか、障害のある人及びその家族も参画している障害者施策推進協議会や市民フォーラムを通じて、広く障害のある方から意見を聞き、市の取り組みに反映させていきたい。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 市政を市民自治、市民のつばやきから見つめて
- 2 歴史に責任を持つということについて
- 3 差別なき金沢に向かって



市政刷新金沢
小阪 栄進 議員

健康寿命を延ばすための施策

問 健康寿命を延ばすためには、高齢者が働きがいや生きがいを持つことができる環境づくりが重要になるが、さまざまなイベント等において高齢者にボランティア活動への参加を奨励していくことはできないか。

答 高齢者がこれまで培ってきた知識や経験、人脈などを生かし、地域の福祉活動やボランティア活動に積極的に参加できるような仕組みを構築し、健康で生き生きとした生活ができる環境づくりを推進していきたい。（市長）

子ども・子育て支援新制度における「放課後児童クラブ」について

問 子ども・子育て支援新制度における「放課後児童クラブ」の児童支援員の処遇改善事業について、その実施状況と指導方針について聞く。また、開所時間を延長しているクラブの実施状況と今後の見通しを聞く。

答 市内 84 クラブ中、64 クラブで処遇改善を実施しており、未実施のクラブに対しても職員の資質向上や定着化を図るため、引き続き周知に努める。また、現在、11 クラブが開所時間を延長しており、今年度中にさらに 2 クラブが実施する予定である。利便性向上のため、積極的に取り組んでもらえるよう、引き続き周知に努める。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 健康寿命を延ばすための施策について
- 2 子ども・子育て支援新制度における「放課後児童クラブ」について
- 3 スポーツコミッションについて



公明党金沢市議員会
松井 純一 議員

文化芸術の振興について

問 本市の伝統文化の発展を担う人材の育成に向けた条例の制定について、所見を聞く。

答 本年度から施行された県の文化振興条例と整合性を図り、また呼応していくことが大切である。本市においても、職人大学校など技と芸の後継者の育成を行っているところであり、人材育成を目的としたさまざまな施策を体系化し、計画的に進める戦略的な指針を示すためにも、本市の文化振興施策の特色である伝統文化の人材育成の支援に焦点を当てた、新たな条例づくりについて検討を進めていく。 (市長)

本多の森周辺景観整備について

問 県立図書館の移転に伴い、職員会館を含めた一体的景観整備をする予定はあるのか。これまでの整備状況等とあわせて聞く。

答 金沢 21 世紀美術館や中村記念美術館、鈴木大拙館との回遊性を高めるとともに、周辺の自然環境と調和した質の高い緑地空間を創出したいと考えており、本多家上屋敷跡関連遺構の発掘調査や鈴木大拙館に隣接する緑地部分の実施設計を行っている。職員会館の跡地は、本庁舎周辺施設再編整備基本計画の中で、周辺と調和した利活用を検討していく。県立図書館の跡地については、一義的には移転建てかえの過程で県が検討していく課題であるが、本市としても関心を持つべきと考えている。 (市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 自公政権の取り組みについて
- 2 歴史と伝統文化のまちづくりについて
- 3 未来ある子ども、若者施策について



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員

家庭ごみ有料化ではなく本当の環境施策を

問 本市の家庭ごみの量は中核市中、少ない方から 8 番目だが、事業系ごみの量が多い方から 5 番目となっており、事業系ごみへの対策が必要である。新幹線開業やイベントでどれだけごみがふえる試算があったのか。また、事業系ごみやイベントごみの減量化を市民にも見える形で行うべきと考えるが、いかがか。

答 新幹線開業後、イベントなどを含めた事業系ごみの量は、今年度上半期で昨年実績より約 3 % 増加しており、今後の推移を注視しなければならない。事業系ごみの抑制も重要な課題であると認識しており、今後事業所等の指導もさらに強化し、新たな減量化の方策も検討する。 (市長)

学童保育の困難解決を

問 子ども・子育て支援新制度に移行し、学童保育についても市の責任が伴うこととなっており、分割や移転、新設、指導員の補充などを保護者や地域任せにせず、市が責任ある対応を行うよう求めるが、いかがか。

答 本市はこれまでも、地域の社会福祉協議会や社会福祉法人と連携しながら取り組んでおり、市の責任でという指摘については、地域とより一層連携を密にしなければならないという指摘と受けとめ、取り組んでいく。 (市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 戦争法廃止と平和を守る取り組みについて
- 2 消費増税や地方創生では市民生活も地域経済もよくならない
- 3 家庭ごみ有料化はやめて、本当の環境施策を
- 4 学童保育の困難解決を



金沢保守議員会
小林 誠 議員

ラグビーW杯キャンプ地誘致について

問 2019年にラグビーワールドカップが日本で開催されるが、さきのワールドカップにおける日本代表の活躍により、ラグビーに対する市民の関心が高い中、チームキャンプ地を金沢市に誘致することを考えているのか。

答 ラグビーワールドカップ2019組織委員会では、チームキャンプ地に関する募集要項の発表を平成28年春以降に予定しており、今後、施設環境などの諸条件を見きわめた上で検討したい。
(市長)

平和教育における8月6日、9日の登校日について

問 世界で初めて原爆が投下された唯一の被爆国として、小中学校で8月6日、または9日を登校日に設定し、日本の歴史から平和を学ぶことが重要であると考えるが、本市の平成27年度の実績を聞く。また、金沢市が平和教育の先進地となるよう教育長のリーダーシップで登校日の設定を進めて行くべきだと思うが、所見を聞く。

答 平成27年度の実績は、小学校は9校、中学校は2校である。我が国が世界で唯一の被爆国として多くのとうとい命の犠牲の上に現在の平和があることに思いをめぐらせる大切な日だと認識しており、今後も校長としっかり話し合っていきたい。
(教育長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 金沢マラソンについて
- 3 スポーツ施策について
- 4 家庭ごみ有料化について
- 5 教育について



自由民主党金沢市議員会
上田 雅大 議員

ふるさと納税の返礼品について

問 ふるさと納税に対する返礼品の取り組みは現在行っていないが、金沢らしさに特化した人材育成の取り組みとして、金沢美大の卒業生や卯辰山工芸工房の若手作家の工芸作品などを返礼品として贈る取り組みを行うべきだと思うが、所見を聞く。

答 本市では、ふるさと納税は芸術文化の振興や将来を担う人材の育成に活用しているところだが、明年度の予算編成において、金沢らしいふるさと納税のあり方を検討していく。
(市長)

文化振興条例の制定について

問 歴史、伝統、文化の若い担い手を初めとする人材を育成する視点から、本市においても金沢らしさや個性にこだわった、より具体的な施策に取り組む方向性を示す金沢版の文化振興条例を制定すべきと思うが、所見を聞く。

答 金沢のさらなる飛躍のために伝統や文化などのまちの個性を磨き高める努力が重要であるとの考えのもと、県の条例にしっかりと呼应し、整合性を図りながら、邦楽や能楽、工芸、希少伝統産業などに関わる人づくりを支援するための条例制定を検討していきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 ふるさと納税について
- 2 文化振興条例について
- 3 若者の結婚支援について
- 4 子育て支援について
- 5 ごみの減量・資源化対策について



みらい金沢
松井 隆 議員

「民泊」と和風旅館利用について

問 ホテル不足を補うために市内で減少傾向にある金澤町家を民泊として活用することと、和風旅館の魅力を十分に発信していくことが金沢の魅力を伝えることになるのではないかと。

答 民泊については国が規制を見直すことから、規制改革会議の結論を注視していく。また、本市においては和風旅館の改修を支援しており、市観光協会のホームページ等を活用し、和風旅館の魅力を国内外に発信していく。（市長）

観光客等の避難誘導計画について

問 北陸新幹線開通後、多くの旅行者が金沢を訪れている。旅行者は地理に不慣れであり、外国人であれば言葉が通じず、避難場所もわからない。このような状況でどのように避難場所へ誘導するのか。避難計画の取り組み状況と今後の対策について聞く。

答 観光客の避難誘導マニュアルを作成し、観光ボランティアに避難誘導をお願いしているほか、ホテルや旅館協同組合と避難受け入れの協定を締結するなど、防災対策の充実に努めてきた。また、国が外国人向け緊急避難アプリの開発を進めており、その動向を見守るとともに、市としては避難受け入れのための訓練の検討、防災研修の実施に取り組み、避難対策の充実を図っていく。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- まちづくり都市機能高める施策について
- 危機管理関係の情報伝達の強化について
- 命と暮らしを守る災害に強いまちづくりについて
- 緊急輸送道路について



公明党金沢市議員会
源野 和清 議員

認知症カフェを市内全域へ展開する上で店舗協働型の運営形態も有効では

問 認知症カフェは、日常生活圏域単位での展開が望ましいと考えるが、限られた予算の中、地域事情もさまざまに異なることを考えると、店舗協働型の運営形態も一つの有効な運営のあり方ではないかと。

答 店舗協働型については、スムーズに開設できることや家族で足を運びやすいこと、地域の商店街の活性化の一助になるなどのメリットが考えられる。今後は各日常生活圏域で1カ所の開設を目指しており、運営場所の一つとして検討したい。（市長）

高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期接種の制度周知について

問 高齢者用肺炎球菌ワクチン定期接種の昨年度の接種率と本年度の途中経過について聞く。また、対象者は年度ごとに変わるため、期限以降は全額自己負担になることが十分に伝わっているのか気になるところであり、今後の対応及び接種率向上への取り組みについて聞く。

答 平成26年度の接種率は44.8%、平成27年度は10月末現在で22.3%である。（保健局長）
今後は、広報等をさらに充実させ、新聞、ラジオなどさまざまなメディアを活用して繰り返し周知に努めたい。また、経過措置の内容等についても、より理解を得られるようさらに工夫を重ね、医療機関との連携や、高齢者が集まる機会でのPRなどの周知にしっかりと取り組むたい。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 認知症施策について
- 高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期接種について
- 国保医療費の適正化について



日本共産党金沢市議員団
大桑 初枝 議員

マイナンバーについて

問 マイナンバーの通知カードが届かないことも含め、受け取っていない方への対応はどうするのか。また個人番号カードを作成しなくても不利益はないのか。さらに、現行使用されている住民票等自動交付機は、今後どのようなのか。

答 通知カードを受け取っていない方には、早く受け取ってもらうよう周知に努める。また、個人番号の記入がないことのみをもって福祉サービス等を受けられないことはない。住民票等自動交付機については、平成28年5月より個人番号カードを利用した証明書コンビニ交付サービスを導入することにより、利便性が向上することから、順次廃止していきたい。(市長)

介護について

問 平成27年4月より、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料の基本月額が5,680円から6,280円に引き上げられ、県内で3番目に高額な保険料になっている。介護サービスを受けることが困難な中、保険料の軽減措置を国に求め、本市独自の軽減策を創設すべきではないか。

答 介護保険料は、入所施設の充実、認定者の増加により、改定を余儀なくされたが、負担能力に応じた細かな保険料段階の設定を行うなど、低所得者に配慮した保険料の軽減に努めたところであり、国に対する要望や新たな軽減策は考えていない。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 マイナンバー制度について
- 2 保育について
- 3 介護について
- 4 TPPと本市農業について



清風金沢
玉野 道 議員

公営企業経営について

問 人口の減少は、需要の減少とともに効率的な供給を困難にすることから、経営に直結する問題である。石川中央都市圏の取り組みとして、施設の共同設置などの手法による改善は重要な課題だと思うが、石川中央都市圏構想における公営企業の広域化の取り組みについて聞く。

答 連携中枢都市圏の形成を目指し、連携していくことが大切であり、まずは4市2町の上下水道事業について広域化に係る研究会を立ち上げたいと考えている。(市長)

市立病院事業について

問 平成26年6月に医療・介護総合確保推進法が成立し、医療政策に関する権限と責任が都道府県に移譲された。国は公立病院の改革のためのガイドラインを策定するなど公立病院を取り巻く環境が大きな転換点を迎える中で、市立病院における新「改革プラン」の策定状況と地域医療構想を踏まえた市立病院の将来像について聞く。

答 新しい病院改革プランについては、ワーキングチームを設置し、病院の役割の明確化や経営の効率化などの検討に着手したところである。市立病院はこれまでも医療需要等の変化に対応してきており、これまでの取り組みを基本に、今後必要に応じて地域医療構想との整合を図り、適切に対処していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 公営企業経営に関して
- 2 市立病院事業に関して
- 3 第二庁舎建設に関して
- 4 「地方創生」、「連携中枢都市」の職場環境づくりについて



自由民主党金沢市議員会
坂本 泰広 議員

消火用のスタンドパイプ^(※)を導入してはどうか

問 消火用のスタンドパイプは、初期消化能力を高めるだけではなく、消防能力を超える火災に対して、住民自らの自助・共助力を高めるためにも有効であることから、導入してはどうか。

答 初期対応として有効な手段であると思うが、消火栓バルブ操作やホース延長操作などの課題があり、事故防止の観点からも、他都市の状況等を見ながら導入の可能性に向けて研究をしていく。
(市長)



スタンドパイプの設置例

(※) スタンドパイプ：初期消火・延焼防止に有効な可搬式簡易軽量の消火器具

障害児童の放課後デイサービスの利用にあたっての利便性を高められないか

問 障害児童の放課後デイサービスのサービス利用日数は最大でも 20 日間であるが、利用日数をふやせないか。

答 現在利用日数は最大 20 日であるが、障害区分認定審査会の意見を踏まえ、不足する場合は柔軟に対応している。今年度事業所が新たに 9 か所ふえたところであり、利用状況を見極め、サービス利用日数拡大を検討したい。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 直下型地震に対する危機管理について
- 2 障害児童の放課後等デイサービス利用について



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員

本格的な少子高齢化社会における対策について

問 本市の医療・介護・年金など社会保障給付費全体の推移をどのように予測しているのか。また、団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年に向け、どのように「金沢版地域包括ケアシステム」を構築し、各地域でさまざまな組織や機関を横断し繋げていく「人財」の育成を行っていくのか。

答 本市の社会保障費は毎年 20 億円程度の増加を見込んでおり、財政の持続性と健全性の確保に努めていく。また、生活支援・介護予防の提供体制の充実、医師会との連携による介護サービス・在宅医療の提供体制の充実、認知症患者を支える体制整備の施策に力を入れるとともに、医療と介護の連携のために医師会による患者情報の ICT 化も支援する。また、地域に必要な地域福祉コーディネーターの育成にも努めていく。
(市長)

金沢観光の質を高める戦略

問 交流人口の拡大と並行し、本来の「金沢らしさ・風情」や、都市としての快適性を考慮した「観光の質」の向上についてどのような方針を考えているのか。

答 これからのキーワードは“本物”であり、観光客が「金沢らしさ」をゆっくりと楽しみながら周遊できるまちづくりのために、まち歩きお勧めルートの拡充や観光素材の磨き上げ、2 次交通等の環境整備の充実に努め、メディア等を活用した戦略的な情報発信に努めたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢版地域包括ケアシステムについて
- 2 金沢の観光戦略について



みらい金沢
麦田 徹 議員

生活困窮者自立支援制度について

問 昨年、他都市の県営住宅で、母子世帯が生活苦による家賃滞納を理由に強制退去を命じられ、無理心中するという痛ましい事件があったが、本市においてこのようなことが起こらないようにするための県との連携や本市の対応について聞く。

答 県営住宅の所管部局とは、日常的に情報共有する機会も多いことから、今後も連携に努めたい。また、市営住宅においても入居者との面談により、家賃の減免手続き等、実情に応じた対応をしている。生活困窮者支援については、福祉、保健、住宅、労働等関係部局で構成する「庁内連絡会議」を設置し、生活困窮者の早期把握に努め、包括的支援につなげている。

(市長、福祉局長)

中心市街地のフリースペース設置について

問 再開発事業を含めた中心市街地の整備において、地域のコミュニティーの方々が活用することによって、にぎわいの起点となるような、フリースペースを設置できないか。

答 コミュニティー空間は、にぎわいの創出や、地域コミュニティーの醸成につながり、地域再生の核になりうると考える。地域コミュニティーの形成は大切なものであり、今後の再開発事業においてもコミュニティー空間の整備に引き続き意を用いていくとともに、管理、運営のあり方を含め研究していく。

(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 スポーツと街について
- 2 生活支援事業について
- 3 中心部のにぎわいについて
- 4 保育士について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員

65億円をかけての議会棟が主たる第二庁舎建設は見直しを

問 素案によると、第二庁舎等の建物の配置は議会棟そのものがメインとなっている。30億円を投じて本庁舎を耐震化し、議会フロアも十分活用できるのに65億円をかけて議会棟が主たる第二庁舎建設を進めなければならないのか。

答 南分室などは老朽化していることから、有識者による検討懇話会の答申のほか、市の内部や議会からの意見を参考にしながら案を出させてもらった。

(市長)



第二庁舎のイメージ図

学校での組み体操の安全対策を

問 学校での組み体操は運動会の花形だが、事故が発生し、社会問題となっている。本市の現状と安全対策はどのようになっているのか。

答 平成27年度は、小学校56校1分校中52校で組み体操が行われており、平成23年度からの5年間で、打撲38件、捻挫25件、骨折13件を含め92件のけがが発生している。今後、原因分析し、安全対策をしっかりとものにしていける。

(教育長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 65億円を投じての議会棟が主たる第二庁舎建設は見直しを
- 2 高すぎる国民健康保険料の引き下げを
- 3 学校での組み体操やプールでの事故の現状と安全対策について



会派みどり
熊野 盛夫 議員

金沢市民芸術村のディレクター制度について

問 国のグッドデザイン大賞を受賞した金沢市民芸術村の運営スタイルであるディレクター制度は当市の誇るべきものだが、開村から20年近く各工房のディレクターたちをまとめる総合ディレクターが変わっていないのは問題ではないか。

答 総合ディレクターは芸術文化の識見はもとより、公平、公正で、開村の精神への理解など、それにふさわしい方に委嘱しており、支えてもらっていると感謝している。（市長）

第二庁舎建設と石川中央都市圏の整合性について

問 連携中枢都市圏の計画を出せば国が予算化するという流れは、平成の大合併を彷彿とさせる。金沢市もいずれそうなるかもしれないということを踏まえた市政のかじ取りが必要で、それにも対応する庁舎機能や庁舎の場所など再議論が必要ではないか。今、試算65億円で建設するのは性急で、耐震化工事を終えたばかりの現庁舎をまだ使うべきではないか。

答 石川中央都市圏の実務者会議、首長会議で合併の議論はなく、私も考えてもいない。第二庁舎だが、南分室等の老朽化が進んでおり、建てかえて機能を集中させたい。手順を踏んで丁寧に説明を重ねながら進めていく。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 金沢マラソンについて
- 2 金沢市民芸術村について
- 3 ふるさと納税について
- 4 東京オリンピック・パラリンピックのポジティブ・レガシーについて
- 5 家庭ごみ有料化について
- 6 第二庁舎建設と石川中央都市圏について



自由民主党金沢市議員会
黒沢 和規 議員

総合戦略における文化振興の位置づけについて

問 市長は提案理由説明で「本市の伝統文化の発展を担う人材の育成に向けた条例の制定を検討したい」と述べたが、これまでは文化振興条例の制定に消極的であったように思う。制定にかじを切った動機、またその基本コンセプトは何か。

答 これまでも技と芸の人づくり基金など、人材育成に取り組んできたところだが、県の文化振興条例に呼応し、それらの施策をきちんと体系化することが大切との思いから条例の制定に思いが至った。金沢の個性を大切にしていけることが、金沢の魅力をさらに高める。そのため施策を体系化し、条例化したいと考えている。（市長）

教育再生実行会議第6次提言の「地域を担う子供を育て、生きがい、誇りを育む」について

問 国の教育再生実行会議の第6次提言では、地域の将来を担う子どもを育てるための教師の育成が不可欠としているが、地域に誇りを持ち、地域に役立つという子どもたちの意識を涵養する学校教育の推進についてどう取り組むのか。

答 学校教育振興基本計画では、ふるさと金沢の個性を生かした教育に取り組むとしている。金沢の豊かな地域資源を活用し金沢ふるさと学習はもとより、ユネスコスクールの取り組みを推進するなど、子どもたちがまちづくりの担い手として、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の育成を図っていききたい。（教育長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢版総合戦略について
- 2 地方創生における教育の果たす役割について（教育再生実行会議第6次提言から）

平成27年度 12月定例月議会 審議結果

賛否などの態度が分かれた議案等については、議員別賛否一覧をご覧ください。

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

議案番号	件 名	本会議の結果	
------	-----	--------	--

◇ 市長提出（議案 20 件、認定 2 件、諮問 1 件）

議案第36号	平成26年度金沢市公営企業特別会計未処分利益剰余金の処分について	可 決	全会一致
議案第39号	平成27年度金沢市一般会計補正予算（第3号）	可 決	賛成多数
議案第40号	金沢市パーク・アンド・ライド駐車場条例制定について	可 決	全会一致
議案第41号	金沢市行政不服審査会条例制定について	可 決	全会一致
議案第42号	金沢市空き家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例制定について	可 決	全会一致
議案第43号	金沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可 決	賛成多数
議案第44号	金沢市非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第45号	金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	可 決	賛成多数
議案第46号	金沢市学校設置条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第47号	金沢市社会福祉法に基づく婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第48号	金沢市国民健康保険条例及び金沢市介護保険条例の一部改正について	可 決	賛成多数
議案第49号	金沢市における市民参画によるまちづくりの推進に関する条例及び金沢市における土地利用の適正化に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第50号	金沢市地区計画等の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第51号	金沢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第52号	工事請負契約の締結について（金沢市金石消防署臨港出張所新築工事（建築工事））	可 決	全会一致
議案第53号	公立大学法人金沢美術工芸大学第2期中期目標の制定について	可 決	全会一致
議案第54号	市道の路線認定について	可 決	全会一致
議案第55号	市道の路線廃止について	可 決	全会一致
議案第56号	市道の路線変更について	可 決	全会一致
議案第57号	金沢市公平委員会委員の選任につき同意を求めるについて 瀬戸和夫氏	同 意	全会一致
認定第1号	平成26年度金沢市歳入歳出決算認定について	認 定	賛成多数
認定第2号	平成26年度金沢市公営企業特別会計決算認定について	認 定	賛成多数
諮問第2号	人権擁護委員候補者推薦に関し答申を求めるについて 能木場由紀子氏 木下良氏 松尾俊明氏	諮問のと おり答申	全会一致

◇ 議員提出（議案 12 件）

議会議案第17号	沖縄県民の民意を無視した国に抗議し、米軍新基地建設の中止と米軍普天間飛行場の閉鎖・撤去を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第18号	マイナンバー制度の運用中止を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第19号	安保関連法の施行に当たって慎重な対処を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第20号	辺野古新基地建設問題において、地方自治と民主主義の尊重を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第21号	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第22号	マイナンバー制度に係る各市町村の財政負担の軽減を求める意見書	可 決	賛成多数

賛否などの態度が分かれた議案等については、議員別賛否一覧をご覧ください。

※審議結果は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

議案番号	件 名	本会議の結果	
議会議案第23号	連携中枢都市圏構想の取り組みの推進に関する意見書	可 決	賛成多数
議会議案第24号	「民泊サービス」のあり方に関する意見書	可 決	賛成多数
議会議案第25号	東京国立近代美術館工芸館の金沢市への移転に関する意見書	可 決	全会一致
議会議案第26号	地方大学の機能強化を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第27号	教職員定数に関する意見書	可 決	全会一致
議会議案第28号	奨学金制度の改善を求める意見書	可 決	全会一致

※可決された意見書は、金沢市議会ホームページでご覧になれます。

◇請願（6件）

請願第 7 号	「消費税 10 %増税反対の意見書」採択を求める請願	不 採 択	賛成少数
請願第 8 号	「所得税法 56 条廃止の意見書採択を求める」請願	不 採 択	賛成少数
請願第 9 号	T P P 交渉に関する請願	不 採 択	賛成少数
請願第10号	マクロ経済スライドの実施の中止を求める請願	不 採 択	賛成少数
請願第11号	国民健康保険制度の改善を求める請願	不 採 択	賛成少数
請願第12号	安全保障関連 2 法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願	不 採 択	賛成少数

◇陳情（1件）

陳情第 4 号	政務活動費に関する陳情	不 採 択	賛成少数
---------	-------------	-------	------

※陳情第5号「家庭ごみの収集を有料化せず、市民と行政の共同によってごみの減量と資源化を推進していくことを求める陳情」及び陳情第6号「土曜日又は日曜日における議会の開会を求める陳情」は継続審査となりました。

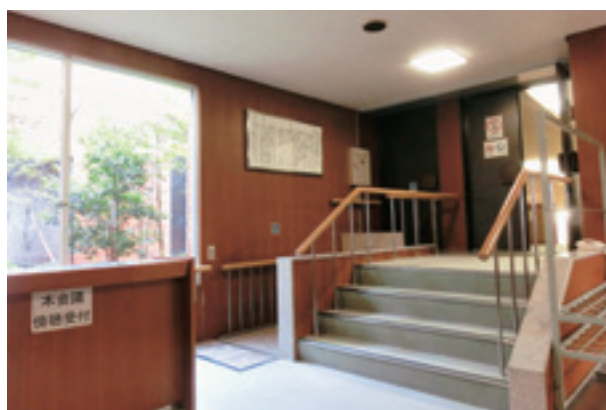
議会の傍聴について

議会の傍聴は、議会の活動に触れるための身近な方法であり、どなたでも傍聴することができます。また、聴覚に障害のある方のために、手話やパソコンによる要約筆記を利用した傍聴も行っています。（事前の申し込みが必要です。）

本会議の傍聴の受付は、本会議当日に市役所本庁舎 7 階の議場傍聴席入口で行っています。なお、次の本会議は、3月2日（水）から開かれる予定です。（日程は変更することがあります。）



傍聴席から見た議場の様子



傍聴席入口、傍聴受付



傍聴席

議員別賛否一覧(平成27年度12月定例会議会)

賛否などの態度が分かれた議案等について、各議員の態度を表示しています。

※○：賛成、×：反対、退：退席、議長は採決に加わらないため、「/」と表示しています。

※会派等の名称：公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、金沢保守（金沢保守議員会）、清（清風金沢）、か（かなざわ）、み（会派みどり）

※各議員の賛否は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

議 案 番 号	件 名	自由民主党金沢市議員会														みらい金沢			市政刷新金沢		公明党		日本共産党		金沢保守		清	か	み								
		上田 雅大	小間井 大祐	坂本 泰広	高 誠	喜多 浩一	下沢 広伸	高岩 勝人	野本 正人	久保 洋子	松村 理治	清水 邦彦	黒沢 和規	福田 太郎	横越 徹	田中 展郎	高村 佳伸	松井 隆	麦田 徹	山本 由起子	森 一敏	中西 利雄	中川 俊一	前 誠一	小阪 栄進	澤飯 英樹	源野 和清	秋島 太	角野 恵美子	松井 純一	大桑 初枝	広田 美代	森尾 嘉昭	長坂 星児	小林 誠	安達 前	玉野 道

◇市長提出

議案第39号	平成27年度金沢市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	金沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	金沢市国民健康保険条例及び金沢市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成26年度金沢市歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成26年度金沢市公営企業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇議員提出

議会議案 第 17 号	沖縄県民の民意を無視した国に抗議し、米軍新基地建設の中止と米軍普天間飛行場の閉鎖・撤去を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議会議案 第 18 号	マイナンバー制度の運用中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議会議案 第 19 号	安保関連法の施行に当たって慎重な対処を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議会議案 第 20 号	辺野古新基地建設問題において、地方自治と民主主義の尊重を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議会議案 第 21 号	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	
議会議案 第 22 号	マイナンバー制度に係る各市町村の財政負担の軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議会議案 第 23 号	連携中枢都市圏構想の取り組みの推進に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議会議案 第 24 号	「民泊サービス」のあり方に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

賛否などの態度が分かれた議案等について、各議員の態度を表示しています。

※○：賛成、×：反対、退：退席、議長は採決に加わらないため、「／」と表示しています。

※会派等の名称：公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、金沢保守（金沢保守議員会）、清（清風金沢）、か（かなざわ）、み（会派みどり）

※各議員の賛否は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

議 案 番 号	件 名	自由民主党金沢市議員会												みらい金沢				市政刷新金沢		公明党		日本共産党		金沢保守	清	か	み												
		上田 雅大	小間井大祐	坂本泰広	高多誠	喜多浩一	下沢広伸	高岩勝人	野本正人	久保洋子	松村理治	清水邦彦	黒沢和規	福田太郎	横越徹	田中展郎	高村佳伸	松井隆	麦田徹	山本由起子	森一敏	中西利雄	中川俊一	前誠一	小阪栄進	澤飯英樹	源野和清	秋島太	角野恵美子	松井純一	大桑初枝	広田美代	森尾嘉昭	長坂星児	小林誠	安達前	玉野道	宮崎雅人	熊野盛夫
議会議案 第 25 号	東京国立近代美術館工芸館の金沢市への移転に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○

◇請願

請願第7号	「消費税10%増税反対の意見書」採択を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
請願第8号	「所得税法56条廃止の意見書採択を求める」請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
請願第9号	T P P交渉に関する請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
請願第10号	マクロ経済スライドの実施の中止を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
請願第11号	国民健康保険制度の改善を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
請願第12号	安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○

◇陳情

陳情第4号	政務活動費に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
-------	-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

委員会の傍聴について

委員会の傍聴の受付は、委員会開催の当日に市役所本庁舎6階議会事務局で行っています。（受付は開催時間の10分前で締め切らせていただきます。）委員会の開催日程につきましては、議会事務局（220-2392）までお問い合わせください。金沢市議会のホームページからも確認できます。

なお、傍聴希望者が多数の場合は、定員数等の関係により、傍聴をお断りする場合がありますのでご了承ください。



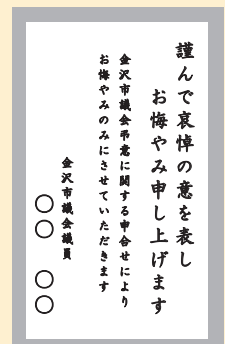
委員会室の様子（写真は第5委員会室です）

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします

金沢市議会では、弔事における香典について、自らが出席する葬儀または通夜であっても原則として禁止し、弔意を表すとともに、その趣旨を記載した議員共通の名刺を提出しております。

議員の寄附行為等は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀の禁止（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
 - 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること
 - 市民や団体が議員に寄附を求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。



決算審査特別委員会の要望事項

12月16日の本会議において、平成26年度決算認定に係る議案1件、認定2件が全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決、認定されました。これらの議案等については、9月11日に設置された一般会計等決算審査特別委員会（清水邦彦委員長）及び企業会計決算審査特別委員会（小阪栄進委員長）において、決算書や附属書類等に基づき、詳細な説明の聴取や現地視察などを行い、審査してきました。また、本会議での採決に先立ち、両委員長による委員長報告が行われ、下記のとおり要望事項が付されました。



一般会計等決算審査特別委員会

清水邦彦委員長

1 景気の緩やかな回復に伴い税収が増加するなど、明るい兆しが見られるものの、少子高齢化社会の進展により、社会保障費の増加に歯どめがかからない状況であることから、引き続き財政の健全性の確保に努められたい。また、市債残高は着実に減少しているが、依然として高い水準にあることから、中期財政計画に基づく繰上償還の実施などを通じて、将来世代の負担軽減に意を用いられたい。一方で将来の財政需要を見据え、基金の計画的な活用に取り組まれたい。

2 北陸新幹線金沢開業により、まちに活気とにぎわいがもたらされているが、その効果を一過性のものとするのではないよう、アフター新幹線を見据えた重点戦略計画の着実な実践に取り組まれたい。また、首都圏での魅力発信拠点となる「銀座の金沢」においては、入場者数や売り上げの増加を図るほか、県のアンテナショップとの連携をより一層推進するなど、本市の魅力発信に努められたい。

3 金沢市土地開発公社の解散に伴い市が取得した用地については、財源の確保に努め、早期の事業化を図られたい。



企業会計決算審査特別委員会

小阪栄進委員長

1 ガス事業においては、単年度収支の黒字が続いているものの、依然として供給戸数や販売量の減少傾向に歯どめがかかっていないことに加え、今後、ガス、電力の小売自由化による環境の変化が予想されることから、新たに建設したショールームを核とした戦略的かつ積極的な営業活動を企業局一丸となって展開し、経営環境の改善を図られたい。

2 水道事業においては、懸案であった県水受水費は、責任水量が引き下げられたが、年間給水量の逓減傾向が続くことを考慮し、関係市町と連携のうえ、さらなる受水負担の軽減に向け、今後も県当局との交渉に努められたい。また、水道施設の耐震化や経年対策を計画的かつ積極的に推進することで、安全・安心で安定した水の供給を将来にわたって確保されたい。

3 病院事業においては、単年度収支が5年ぶりに赤字になり、また、3年連続で外来及び入院の患者数が減少するなど厳しい経営環境にあるが、人間ドックをはじめとした予防医療の提供をさらに推進するとともに、地域医療の中核を担い、市民に信頼される、質の高い病院であり続けられるよう経営の健全化に努められたい。

4 中央卸売市場事業においては、集荷力の向上と販売力の強化に取り組んでいるものの、青果部、水産物部ともに取扱量が減少するなど市場を取り巻く環境は厳しい状況にあることから、市場開設50年や北陸新幹線開業を契機に市場が一体となった積極的な施策に取り組むとともに、公設市場の使命である安全・安心な食材の提供によって、金沢の食の安全・安心を支えることにも意を用いられたい。

特別委員会の提言(要旨)

都市内交通に関する調査を行ってきた都市交通特別委員会（秋島太委員長）及びスポーツの振興に関する調査を行ってきたスポーツ振興特別委員会（角野恵美子委員長）は、それぞれ5月15日に設置されて以降、執行部からの説明や参考人からの意見聴取、他都市への視察等を行ってきたことを踏まえ、12月4日に山野市長へ提言書を提出しました。また、12月16日の本会議において両委員長が委員長報告を行い、これをもって両特別委員会の活動は終了しました。提言の要旨は以下のとおりです。



都市交通特別委員会

秋島 太委員長

1 公共交通を核としたまちとするために

公共交通の利用者はもちろん、自動車の利用者についても、ストレスなく公共交通を選択できるような公共交通を身近なものと感じることができる施策や機会を提供していくとともに、誰もが気軽に公共交通を利用できる社会を目指した施策を展開していくことを強く望む。また、バス路線の再編に当たっては、既存路線にこだわることなく、駅、公共施設や病院などを交通結節点とした利用者目線での再編を目指して市、利用者である市民、バス事業者が一体となった積極的な議論を進めるとともに、ライフスタイルの転換を図るなど、率先して公共交通を利用する市民への意識づけが必要である。

2 第2次金沢交通戦略の策定について

公共交通網の再編はまちのありようを大きく転換することから、これから進めるまちづくりを土台とする広い視点に立った戦略とすべきである。特に、新交通システムの導入に向けては、次世代型路面電車システム（LRT）ありきで議論を進めることなく、バス高速輸送システム（BRT）や都市モノレールなどさまざまな選択肢やあるべき公共交通網を再検討し、将来の金沢に必要な交通システムを構築する建設的な議論を進めるべきである。また、本戦略を確実に推進するため、目標年次を定めるなどのアクションプランを策定し、市民に具体的な道筋が見えるようにして戦略を進めてほしい。



スポーツ振興特別委員会

角野恵美子委員長

1 競技スポーツへの支援について

各種スポーツ大会の開催に当たって、より円滑な運営ができるよう、単発的に開催される全国大会などへの補助を拡充されたい。また、地元密着型プロスポーツチームへの支援については、安原ボールパークの整備を前倒しするなど、競技環境の整備に向けた取り組みを加速させているが、今後、選手と市民が触れ合う機会をふやし、地元スポーツの裾野を広げる活動を積極的に展開されたい。

2 スポーツコミッションについて

スポーツ大会の開催は、その競技を市民に披露する絶好の機会であるとともに、地域の活性化にも資することから、誘致活動を主体的に展開するスポーツコミッションの設立を早急に望むものである。今後、県や周辺自治体と連携してスポーツコミッション設立に向けた取り組みを進めるとともに、積極的な誘致活動が展開できる人員体制となるよう意を用いられたい。

3 競技施設の整備について

設置から20年以上経過した施設が7割を超えるなど、耐震化や老朽化対策が求められるとともに、施設改修や更新の費用の増大が懸念される。全ての施設において耐震化対策を行い、施設の安全性を高めることは言うまでもないが、増大する整備費用を考慮し、長期的な視野に立った施設整備計画を早急に策定されたい。

4 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について

キャンプ地誘致に向けた取り組みについては、本市としても他都市に遅れることのないよう積極的な活動を展開する必要がある。今後、活動を行うに当たっては、北陸新幹線開業による交通網の強みをアピールするとともに、県や競技団体との連携を強化し、一体的な活動に取り組まれたい。また、姉妹都市交流など本市が培ってきた国際交流の素地を活用し、国際大会などでも積極的なPR活動に努められたい。

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	10月2日	・金沢市公衆無線LAN「KANAZAWA FREE Wi-Fi」の拡充について ・価値創造拠点推進事業「第1回トーク・オブ・カナザワ」の実施について
	11月5日	・第2次金沢交通戦略の策定にかかる市民等説明会の開催結果について ・金沢市教育行政大綱の策定について
	12月17日	・石川中央都市圏ビジョンの骨子案 ・金沢美術工芸大学新キャンパス構想の概要（案）
経済環境常任委員会	10月16日	・「金沢市観光戦略プラン2016」の策定について ・「木の駅プロジェクト」の実施について
	11月13日	・「金沢の農業と森づくりプラン2025（仮称）」の策定について ・「金沢市低炭素都市づくり行動計画」の改定（案）について
	12月17日	・家庭ごみ有料化実施計画（素案）の意見公募（パブリックコメント）結果について ・金沢市商店街プレミアム商品券の事業実績及び効果について
市民福祉常任委員会	10月16日	・マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）について ・「健康づくりサポート店」事業の改正について
	11月24日	・ぼい捨て等防止条例施行状況検討懇話会からの報告について ・「金沢マラソン2015」開催結果について
	12月17日	・金沢市新協働推進計画の骨子（案）について ・平成27年度地域密着型特別養護老人ホーム開設事業者の選定結果について
建設企業常任委員会	10月16日	・河川の緊急点検等の実施について ・企業局ガスショールーム「ガスぽーと」竣工式の開催について
	11月16日	・平成27年度金沢市道路除雪計画について ・旭化成建材（株）がくい施工した工事における施工データの流用について
	12月17日	・企業局総合防災計画の策定について ・宅内の水道管・ガス管の冬期対策について
教育消防常任委員会	10月20日	・材木町小学校・味噌蔵町小学校統合協議会の協議状況について ・平成27年秋季全国火災予防運動の実施について
	11月24日	・片町地区防犯ビデオカメラの更新について ・金沢市教育行政大綱の策定について
	12月17日	・金沢市原子力災害対策計画における安定ヨウ素剤備蓄計画の検討結果について ・新・工業教育金沢モデル（仮称）構築の進捗状況について



意見交換会を開催しました

10月30日（金）午後7時～ 会場：元町福祉健康センター

関係団体の方も含め、38名の方にご参加いただきました。5月、6月、9月定例会議会の報告、テーマである「空き家対策」について報告を行った後、関係団体から報告等をしていただき、意見交換を行いました。その中で、耐震改修に対する助成制度の拡充や空き家の利活用策、空き家とにならないようにする対策に関する意見などが出されました。



11月25日（水）午後7時～ 会場：西部環境エネルギーセンター

75名の方にご参加いただき、5月、6月、9月定例会議会の報告、テーマである「ごみの減量化」について報告を行った後、意見交換を行いました。その中で、リサイクルやごみの減量の啓発や町会、校下・地区における取り組み、不法投棄対策に関する意見などが出され、活発な議論が行われました。



各回とも、お忙しい中、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。なお、意見交換会の詳しい内容は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。



意見交換会を開催します

金沢市議会では、議会活動の内容を報告するとともに、市民の皆様からの意見をお聴きし、市政に反映していくことを目的に意見交換会を開催しています。皆様のご参加をお待ちいたしております。



日時：平成28年2月17日（水）午後7時～

場所：玉川こども図書館 2階交流ホール

内容：12月定例会議会の報告

「金沢マラソン」についての報告と意見交換

日時：平成28年2月24日（水）午後7時～

場所：金沢美術工芸大学 本館棟2階 視聴覚教室

内容：12月定例会議会の報告

金沢美術工芸大学についての報告と意見交換



みんなの金沢市議会 ～金沢市議会ガイドブック～ ができました

議会広報委員会では、金沢市議会を身近なものに感じてもらうために、平成26年度12月定例会議会からインターネットを活用して本会議の生中継映像の配信を始めたほか、今年度の6月定例会議会から市議会だよりをリニューアルするなどの取り組みを行ってきました。

その一環として、市議会の活動や仕組みなどについて掲載したガイドブックの作成にも着手し、このたび、「みんなの金沢市議会～金沢市議会ガイドブック～」として発刊いたしました。本会議傍聴などの際に、ご希望の方にお渡しするほか、金沢市議会のホームページでもご覧になれます。

本会議の映像について

- 金沢ケーブルテレビでの生中継、本会議翌日の録画再放送（デジタル 031ch・金沢コミュニティチャンネル）
- インターネットでの生中継（ユーストリームを活用した同時配信）

により、本会議の映像をご覧になれます。

また、金沢市議会のホームページでは、本会議の録画映像を見ることができます。（録画映像の配信は、本会議当日から概ね1週間後になります。）



金沢市ホームページ
(くらしをクリック)

↓

くらしの情報
トップページ
(市議会をクリック)

↓

金沢市議会
(議会映像をクリック)

↓

・インターネットでの
生中継は、「Ustream」
・録画映像は、
「金沢市議会 録画映像」
※外部リンクになります

編集後記

ことし最初のかなざわ市議会だよりはいかがでしたでしょうか。私たち議会広報委員会がかなざわ市議会だよりの編集に取り組み始めて、今回で3回目となりますが、12月定例会議では、北陸新幹線開業後の状況や地方創生、家庭ごみ有料化、第二庁舎建設などについての議論が行われました。議会での議論を皆様にわかりやすくお伝えし、議会を身近に感じてもらうように努めているところですが、皆様からのご意見やご感想も参考に、よりわかりやすい紙面にしていければと思います。

ことしもどうぞよろしくお願いいたします。

（委員 前 誠一、広田美代）

任期満了に伴い、金沢市選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われ、以下の方が当選しました。

- 選挙管理委員
宮保喜一、井沢義武、木梨松嗣、石野晴紀
- 選挙管理委員補充員（補充順）
田中 仁、的場豊征、堀岡修次、福田雅幸

議会日誌

9月	
16日	議会広報委員会
17日	企業会計決算審査特別委員会
24日	企業会計決算審査特別委員会
10月	
2日	総務常任委員会
13日	スポーツ振興特別委員会、議会広報委員会
16日	経済環境常任委員会、市民福祉常任委員会、建設企業常任委員会
19日	一般会計等決算審査特別委員会、企業会計決算審査特別委員会
20日	教育消防常任委員会
30日	意見交換会
11月	
4日	議会運営委員会
5日	総務常任委員会
11日	議会広報委員会
12日	第二庁舎等建設特別委員会
13日	経済環境常任委員会
16日	建設企業常任委員会
24日	市民福祉常任委員会、教育消防常任委員会、スポーツ振興特別委員会
25日	意見交換会
26日	一般会計等決算審査特別委員会
27日	議会運営委員会、都市交通特別委員会
30日	一般会計等決算審査特別委員会、企業会計決算審査特別委員会
12月	
1日	第二庁舎等建設特別委員会
3日	一般会計等決算審査特別委員会
4日	金沢市議会 12月定例会議初日 本会議【議案上程・提案理由説明】 建設企業常任委員会、議会広報委員会
8日	議会運営委員会
11日	議会運営委員会
14日	本会議【質疑・一般質問】
15日	本会議【質疑・一般質問】
16日	本会議【質疑・一般質問】
17日	各常任委員会、議会運営委員会
18日	本会議【討論・採決】 金沢市議会 12月定例会議最終日

議会広報委員会

【委員長】 松村 理治 【副委員長】 源野 和清
 【委員】 坂本 泰広 広田 美代 前 誠一
 麦田 徹 小林 誠